

人材派遣の最新情報

派遣でも
テレワークってOKなの？

在宅ワークの 活用法

Theme

Adapting to
Remote Working

テレワーク時代の派遣活用 Q&A

2

緊急事態宣言を受け、急速に普及したテレワーク。派遣スタッフにも活用が広がっています。
現在検討中の会社にも役立つQ&Aをまとめてみました。



Q セキュリティが心配で、
在宅ワークに踏み切れない。

A 派遣業務遂行に必要なPC等の情報通信機器は、派遣先企業から貸与していただくことで派遣先職場内と同様のセキュリティ環境を確保。
個人所有のPCや携帯電話は使用せず、派遣先貸与のPCを利用することで利用状況の把握や進捗管理なども容易になります。

Q 派遣スタッフ向けの
在宅ワーク時の就業ルールが決まっていない。

A 派遣スタッフへ在宅ワークを導入する場合は、派遣会社にご相談ください。例えば、在宅ワーク開始時には「派遣会社との連携方法」などを決めておくことをおすすめします。
なお、在宅ワークであっても労働者派遣法（労働基準法、労働安全衛生法の読み替え規定分を含む）における派遣先企業の義務事項は、オフィス就業時と同様になります。



Q 在宅ワークを行う際に、気をつけることは？

A 持出し可能な情報の範囲・情報の取扱いなどの機密情報管理を派遣先企業の従業員同様に徹底し、派遣会社にもあらかじめ伝えるようにしましょう。



迷っていたら、まずご相談を！
リクルートスタッフィング情報サービス（RSIS）には
豊富なノウハウがあります！！

在宅ワーク開始までの流れ

在宅ワークで派遣スタッフが就業するまでの一般的な流れは以下の通りです。
基本的な流れは通常時と同じですが、在宅ワークならではの確認事項もいくつかあります。

STEP 1

派遣スタッフの在宅ワークに関する 派遣先社内のルール確認

- 在宅ワークの期間や頻度はどうするか。
- 派遣スタッフへのPC・携帯電話の貸与が可能か。
- 情報セキュリティ対策のためのルールをどうするか。
- 出退勤時刻の記録・申請はオフィス出勤時と同じとするか。
- 派遣スタッフの労働時間をどのように把握・管理するか。
- 在宅ワーク時の業務の指揮命令はどのように行うか。
- 残業発生時の手続きや対応はどのように行うか。
- 在宅ワーク時の派遣スタッフとの「報告」「連絡」「相談」はどのようなツールで行うか。
など

STEP 2

派遣会社との取引条件や 在宅ワーク時の就業環境の確認

- 在宅ワークを行う際の派遣会社への事前の申請方法はどうか。
- 在宅ワークで発生する通信費や水道・光熱費はどのように対応するか。
- 在宅時の就業場所におけるネットワーク回線環境や情報セキュリティ体制は問題ないか。
- 緊急時の連絡方法や連携方法はどうか。
など

STEP 3

個別契約書 / 就業条件明示書への 在宅ワーク時の就業場所記載

労働者派遣法は就業場所を特定した働き方のため、在宅ワーク時の就業場所も個別契約書に記載する必要があります。

STEP 4

在宅ワークでの就業開始!

在宅ワークでの業務がスムーズに進むかどうかはスタート後が大事。業務の進め方、コミュニケーション方法、労働時間など、就業状況を細かく確認しましょう。

RSISに頼んでよかった! 在宅ワークの活用例

✓ 活用事例 ①

テレワークが急増し、ノートPCの手配が間に合わない……。RSISのノートPCをスタッフに貸与して派遣します!

テクニカルサポートを請け負うA社では、テレワーク増加に伴い問い合わせ量が増えており、サポート人員の増強が必要でした。オフィスの出勤人数も制限しなければならない関係上、在宅ワークを組み合わせて対応しようとしたのですが、会社内で使用していたPCはデスクトップ型。在宅ワーク用のノートPCの手配が間に合わないため人員の増強ができず、その結果問い合わせにも対応できない……という状況になっていました。

そこでA社のノートPCの準備が間に合うまでの間、RSISのノートPCをスタッフに貸与し、業務を優先することをご提案。VDI環境で業務を進められるようにしたことで、派遣先のセキュリティ環境下での業務が可能となりました。結果的に人員の確保を優先することができ、急増したコール数の対応もできるようになりました。

※RSISでは、在宅ワーク時にPC環境が整うまでの間、一時的にRSISのノートPCを貸し出すことも可能です。詳細は営業担当までご相談ください。

✓ 活用事例 ②

人員補強はしたいが、オフィススペースを広げたくない……。ヘルプデスク業務の全てを在宅ワークで解決!

OA関連商社であるB社は、テレワーク推奨に伴いオフィスを移転。従来より面積が狭くなったことから、デスクを増やさずにユーザーサポート業務を補強する方法を模索していました。業務内容は保守サービスに加入されているクライアントのサポートでしたが、メールや問い合わせフォームからのお問い合わせが大多数とのことでした。

そこでRSISでは在宅ワークの派遣活用をご提案。技術トラブルや仕様確認といった技術的な問い合わせ、検証環境の構築や再現試験、さらには問い合わせのログ解析までをフルで在宅にて行える人材をご紹介しますことで、オフィススペースを拡張することなく回答率の向上に成功しました。

業務中に複雑なお問い合わせが発生した場合、通常のオフィス勤務では上級職への引き継ぎが行われますが、本案件ではWeb会議システムを併用することで回答率を下げない仕組みも採用しました。情報セキュリティの観点から在宅ワークに躊躇していたご担当者様も、RSISの正社員のエンジニアが派遣されることで安心感を持ってくださり、業務を担当するエンジニアからも「通勤に使う時間と体力のロスが防げて、これまで以上に業務に集中できるようになった」と喜ばれています。



ITエンジニアの常用型派遣なら リクルートスタッフィング 情報サービス(RSIS) へご相談ください!



夜間のシフトを含む運用監視のお仕事をお願いしたい。



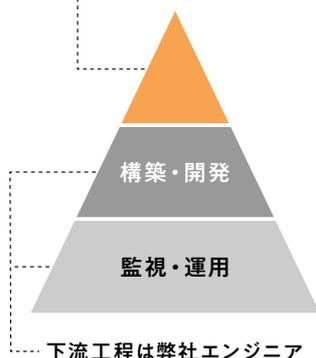
運用コストを見直したい。



突発的な大量ニーズに対応してほしい。

RSISを活用すれば……

上流工程は貴社社員



生産性向上に

下流工程を分業することで、人材活用を最大化できます。

突発的な人員補強に

大量のキitting作業や、センター増強など、一時的に人員が必要な業務も対応可能です。

勤務シフトも柔軟に対応

夜間対応が必要となる運用監視業務などについても、変形労働時間制を活用して柔軟に対応可能です。

人材コストの削減

正社員採用をしてエンジニアを派遣する常用型のため、人材交代コストが抑制できます。

ご相談は……

お問合せ先



inforeng@rs-is.co.jp



<https://www.rs-is.co.jp/>

RSIS 人材



RSISの強み



安心な価格帯

未経験エンジニアを採用し、お客様と共に、業務を通して育成してまいりますので、安心の価格帯から派遣が可能です。

安定の人材供給力

リクルートブランドを生かした圧倒的な採用力で、首都圏で1000名以上が就業中。

強み

長期就業が可能

無期雇用の派遣社員であれば、3年の期間制限の適用を受けずに就業することが可能。短期案件ももちろん対応可能です。

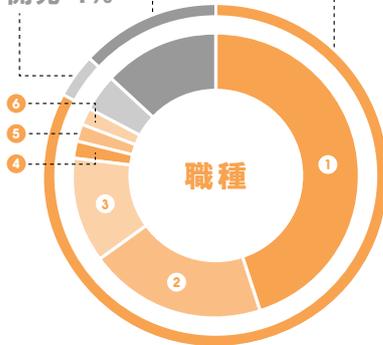
変形労働時間制に対応

夜間勤務等を含むシフトにも柔軟に対応可能。データセンターでの業務従事者も多数在籍しています。

RSISの在籍エンジニア数は1,300名以上!

その他事務等 13%

開発 4%



インフラエンジニアに特化

運用 83%

内訳

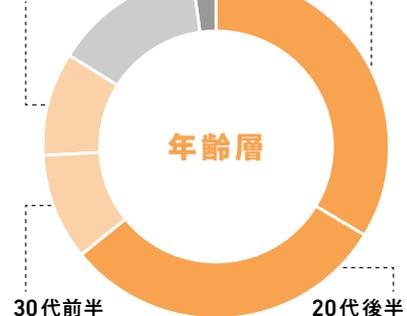
- ① テクニカルサポート 45%
- ② 運用監視 20%
- ③ システム運用 12%
- ④ 設計 (NW、SV含む) 2%
- ⑤ 構築 (NW、SV含む) 2%
- ⑥ セールスエンジニア 2%

40代以上 14%

20代以下 2%

30代後半 10%

20代前半 34%



20代から30代の若手エンジニアが80%以上

株式会社リクルートスタッフィング 情報サービス

- 人材派遣事業
(許可NO: 派13-307020)
- 人材紹介(紹介予定派遣)
事業(事業所NO: 13-ユ-301799)

- IT領域における「労働者派遣事業」
- 設立: 1972年10月
- 株主: 株式会社リクルート
スタッフィング(100%)

お問合せ先

✉ inforeng@rs-is.co.jp
🏠 <https://www.rs-is.co.jp/>

RSIS 人材 🔍